

2025 年度 公益社団法人 日本雪氷学会 北海道支部 第 2 回理事会 議事録

1. 日時

2025 年 7 月 31 日 (金) 15 時 30 分～17 時 00 分

2. 場所

オンライン (zoom)

3. 出席者

(理事) 尾関、白川、大宮、川村、齋藤、杉田、八久保、西田、箕輪、原田 (康)、
桑原、原田 (裕)、渡邊、大鐘 (14 名)

(委任状提出) 小西 (1 名)

以上、敬称略

※進行：白川副支部長、記録：大宮

4. 議事

(1) 総会、第 1 回理事会の議事録説明 (報告)

庶務担当の大宮理事より 2025 年度総会、第 1 回理事会について報告された。

(2) 第 1 回理事会後の評議員交代について (報告)

庶務担当の大宮理事より 2025 年度第 1 回理事会後の評議員交代について報告された。

(一財) 日本気象協会 北海道支社においては、中塚純氏から川合文人氏、東日本高速道路 (株) 北海道支社においては、八幡一夫氏から青山誠司氏へと交代した。

(3) 2025 年度支部研究発表会の実施報告および 2026 年度総会・研究発表会等の開催日と会場について (報告・審議)

箕輪理事より研究発表会の参加者数、発表題数、次年度の予定などが報告された。

次年度の研究発表会は、6 月 5 日 (金) ～6 日 (土) に、かでの 2・7 で開催予定であることが審議、承認された。

(4) 機関誌「北海道の雪氷」、北海道雪氷賞について (審議・報告)

西田理事より、機関誌「北海道の雪氷 44 号」が公開されたこと、冊子体が準備中であることが報告された。北海道雪氷賞の表彰選考委員会について審議され、委員長：八久保理事、委員：尾関支部長、白川副支部長、千葉副支部長、箕輪理事、西田理事が設けられた。

(5) 支部だよりについて (報告)

庶務担当の大宮理事より支部だよりの進捗状況が報告された。

(6) 支部 HP の移行予定と新規デザインについて (審議)

杉田理事より、支部サイトと本部サイトの統合・移行作業は 2025 年 11 月に実施予定であることが報告された。その新規デザインは、A 案（既存サイトを継承）と B 案（画像等を積極的に使用）の 2 案を比較し、審議により A 案に決定した。

（7）サイエンスパークの準備状況について（報告）

社会貢献担当(雪氷教育)の大鐘理事より、今年度のサイエンスパーク（8/6 開催）の内容について報告があった。学生バイトの確保や、ドライアイス（7kg）等の必要物品の手配をしており、参加に向け準備が進んでいる旨が報告された。

（8）雪氷災害調査チームの活動予定について（報告）

雪氷災害調査チーム担当の原田（裕）理事より、雪氷災害調査チームの活動について報告された。また、第 33 回講演会「雪崩から身を守るために」について、北海道支部が北大山スキー部、雪崩事故防止研究会とともに主催となることを審議のうえ、承認された。

（9）庶務作業の一部外注化について（報告）

庶務担当の大宮理事より庶務作業の一部外注化の手続きが完了し、現在、アカデミーセンターによる庶務作業が進行している旨が報告された。

（10）名義後援の承諾について（報告）

庶務担当の大宮理事より「第 47 回技術者交流フォーラム事業 in 網走 オホーツク地域における冬期の気象と災害」に係る名義後援に承諾した旨が報告された。

（11）地域講演会の準備状況について（報告）

担当の原田（康）理事より、今年度の地域講演会の準備状況について報告がなされた。11/9(日)または 11/30(日)に、北見市のアルゴグラフィクス北見カーリングホールにて実施予定であり、北見工大、北見市等に共催・後援を依頼予定である旨、報告された。

（12）紋別わくわく科学教室の開催報告（報告）

担当の桑原理事より、当日の参加者は 1,221 名であったと報告された。

（13）（仮）『雪氷研究大会（2026・北見）』に向けた準備状況（報告・審議）

白川副支部長より、北海道支部が担当となる 2026 年度の雪氷研究大会についての準備状況が報告された。雪氷研究大会 2026 の開催地および開催日時については、第 2 回本部理事会(9/7 開催)にて正式承認を得る予定。

（14）その他

次回理事会は 12 月ころを予定

以上